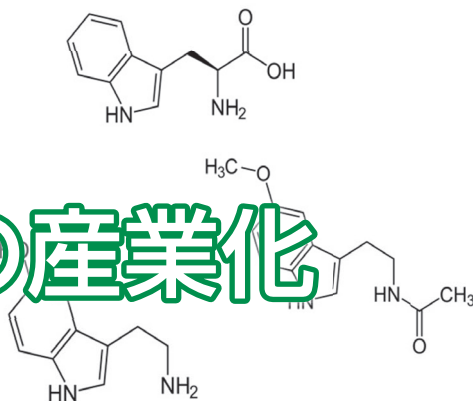


滋賀バイオ産業推進機構 平成30年度 第2回バイオ技術研究セミナー

葉菜類に含まれる 高栄養価タンパク質の産業化



一般的にヒトは必須アミノ酸の多くを動物由来のタンパク質から摂取しています。しかし、キャベツなどの一部の葉菜類の葉に含まれるタンパク質には、ヒトに適した必須アミノ酸や長寿にも関与する可能性のあるアミノ酸が高濃度に含まれていることが明らかになってきました。今回のセミナーでは、県内で進みつつある葉菜類のタンパク質に関する農・理・医分野の研究をご紹介します。

日時: 平成31年3月19日(火)
15:00~17:00

定員
80名

参加費
無料

場所: びわ湖大津プリンスホテル
コンベンションホール2階「淡海」 滋賀県大津市におの浜4-7-7

セミナー1

龍谷大学
 農学部資源生物科学科
 教授 大門 弘幸 氏

「転換畑における畑作物栽培の
 課題と地域特産農作物への
 展開の可能性」

セミナー2

滋賀医科大学 神経難病研究センター
 (分子神経科学研究センター)
 センター長・教授 遠山 育夫 氏

「心と身体の健康長寿における
 ルビスコの有用性」

申し込み方法▶

当機構ホームページの申込みフォームまたは裏面の参加申込書によりFAXにてお申し込みください。(滋賀バイオ産業推進機構HP… <http://www.shiga-bio.jp/>)

申込締切▶

平成31年
3月12日(火) ※ただし、定員になり次第締め切りますので、お早めにお申し込みください。

セミナー詳細は裏面をご確認ください

15:00

挨拶及びセミナー趣旨説明
滋賀バイオ産業推進機構 理事長 横田 明穂 氏

15:15

セミナー①
「転換畑における畑作物栽培の課題と地域特産農作物への展開の可能性」
龍谷大学 農学部資源生物科学科 教授 大門 弘幸 氏

【概要】米の生産調整の終了、農産物流通のグローバル化、食料自給率の低迷など、私たちは、今、農業において多くの課題を抱えています。自給率の低いマメ類やムギ類を水田で栽培するにはどのような工夫が必要でしょうか。また、それを解決し、付加価値をつけることで新たな地域特産の農作物を生産することができないでしょうか。本セミナーでは、タンパク含量の高いマメ科の畑作物を中心に、その展開の可能性についてご紹介します。

16:10

セミナー②
「心と身体の健康長寿におけるルビスコの有用性」
滋賀医科大学
神経難病研究センター(分子神経科学研究センター)センター長・教授 遠山 育夫 氏

【概要】ルビスコのアミノ酸比率を調べてみると、トリプトファンと大分子中性アミノ酸の比率 (TRP/LNAA) が大きい特徴があります。また、TRP/LNAA 比が大きい食品は、脳内のトリプトファン量を増加させることが知られており、「幸せホルモン」と呼ばれるセロトニンや睡眠を調節するメラトニンの原料となることから、ルビスコは脳内トリプトファン量を増加させ、幸福感を増幅し、睡眠を調節する優れた機能性食品になる可能性を秘めています。

17:00

閉会

会場へのアクセス方法

- 無料シャトルバス
(JR大津駅から約10分)
※バスのりばと時刻表は右図のとおり
- お車
名神高速道路大津I.C.から
3.7km(平常時 約10分)



	JR大津駅発		ホテル発	
11	00	30	15	45
12	00	30	15	45
13	00	30	15	45
14	00	30	15	45
15	00	30	15	45
16	00	30	15	45
17	00	30	15	45
18	00	30	15	45
19	00	30	15	45
20	00	30	15	45

滋賀バイオ産業推進機構 (SBO) 宛 参加申込書 FAX :077-528-4876

氏名	所属(会社名)・部署	連絡先
		TEL: E-mail:
		TEL: E-mail:
		TEL: E-mail:

- 申込締切：3月12日(火) ※ただし、定員になり次第締め切りますので、お早めにお申し込みください。
- お問合せ先：滋賀バイオ産業推進機構事務局(滋賀県庁モノづくり振興課内)
【TEL】077-528-3794 【E-mail】info@shiga-bio.jp